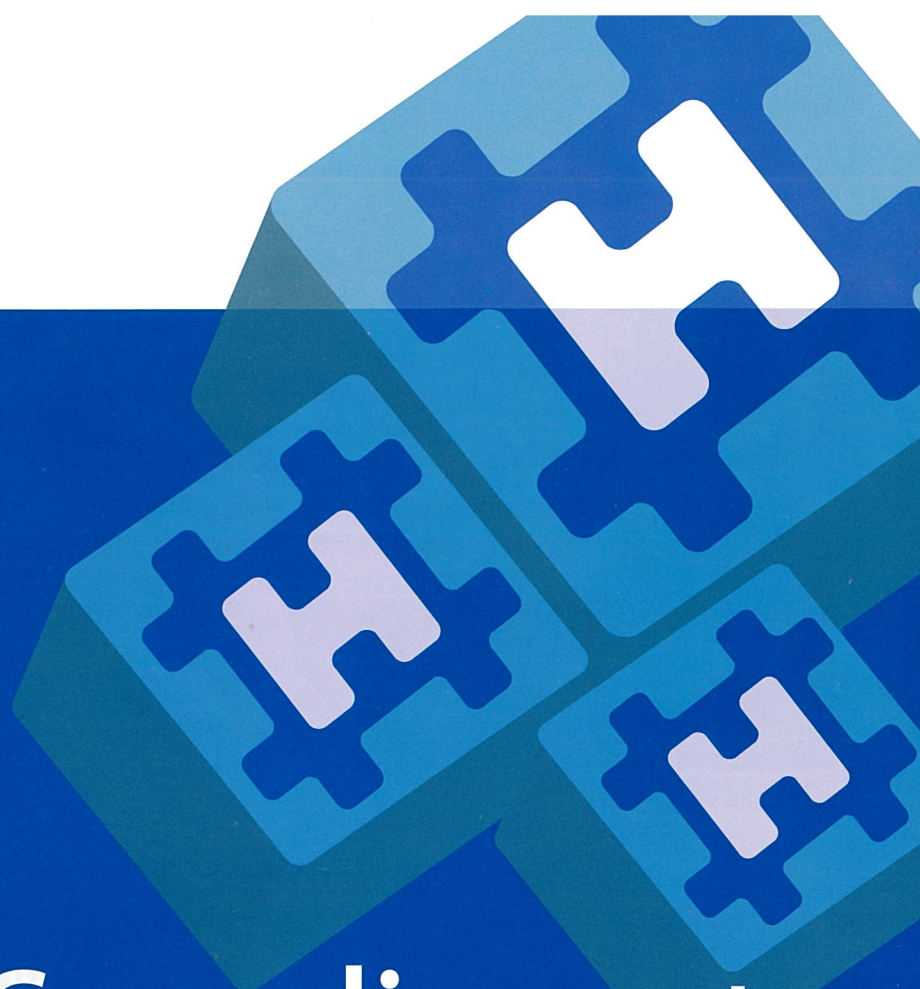




®環境省

エコアクション21

認証番号0011805



Support Compliance |

HOKUSEI KIGYOU
CORPORATE
PROFILE



北清企業株式会社

<http://www.hokuseikigyou.jp>

「北の大地を清くする」

ゆるぎない熱い想いを道しるべに歩み続ける、北清ストーリー。

1969年3月。北の大地・札幌に、小さな塵芥処理業の会社が産声をあげました。現会長・川井雄一が、ごみ処理に困る地域の商店や会社のニーズに応えようと立ち上げた会社です。たった1台のトラックはやがて業界では先駆けとなるロードパッカーに変わり、限られたお客様に喜ばれていた地道で誠実な塵芥処理は、適正な廃棄物処理方法を模索していた行政に認められ、札幌の廃棄物処理の中核を担う会社へと成長を遂げていきました。

経済の発展に伴い、排出される廃棄物も様変わりしていきます。北清企業では廃棄物処理の一步先の未来を常に見据え、環境に配慮した処理方法にいち早く取り組み、収集運搬、処理そしてリサイクルまで一貫して行うことができる独自のシステムを構築していったのです。

現在では全国に12のグループ企業を展開し、日本の廃棄物処理のパイオニアとして循環型社会の実現に邁進しています。

「北の大地を清くする」創業者が抱いたこの願いを道しるべに、北清企業の挑戦と工夫は続きます。

北清企業の成り立ち



地球環境の負荷削減に取り組む企業です。

平成15年8月にISO14001を認証取得。平成29年5月には環境省が推進する環境マネジメントエコアクション21に移行し、業務を通じてCO2削減を目指すとともにSDGsの理念にも賛同し、環境活動、社会貢献活動を推進しております。

SDGsの推進に向けた北清企業の取組み



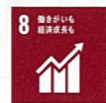
7 再生可能エネルギー
すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

北清企業では廃棄物由来の固形燃料製造を通じて主に札幌市内の熱エネルギー供給に貢献します。



12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する

北清企業では廃棄物となった製品を可能な限り資源化に努め、持続可能な生産に貢献します。



8 働きがいも経済成長も
すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する

北清企業では働き甲斐のある職場づくりを目指し、生産効率を高め安定した雇用を継続します。



13 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

北清企業ではエコアクション21を通じて事業活動でのCO2削減と、RPF固形燃料製造を継続し低炭素社会への貢献と気候変動防止に取り組めます。



11 住み続けられるまちづくりを
都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする

北清企業では廃棄物処理を通じて住みよいまちづくりに貢献し、災害時における廃棄物処理にも迅速な対応で地域環境に貢献します。



14 海の豊かさを守ろう
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

北清企業では廃プラスチックの適正なリサイクルを通じて、マイクロプラスチック海洋汚染の被害拡大防止に努めます。

私たちは産業廃棄物処理の優良認定業者です。

当社は、環境省の「優良産廃処理業者認定制度」により認定された「優良産廃処理業者」です。適正な廃棄物処理は、ご安心して弊社にお任せください。

●優良認定業者に処理委託する場合のお客様のメリット

1. 優良認定業者は環境に配慮して事業を行っていることから、積極的に優良事業者を選択することは、自らも環境に配慮した事業活動を行っていることのアピールポイントになります。
2. 優良認定業者は、産業廃棄物処理状況や施設処理能力等の情報を公表しており、遵法性や事業の透明性が高く、事前に十分吟味したうえで委託することができ、また、コンプライアンスの確保のためにも信頼性があります。
3. 北海道循環型社会形成の推進に関する条例第32条に基づく委託先の処分の実施状況等の確認が不要となります。（1年以上にわたり継続して産廃処分を委託する場合は、年1回以上定期的にその施設の処分の実績等の確認とその結果を記録・保存が義務づけられていますが、これが免除されます。）

●優良認定業者の特徴、優良認定業者の許可証の例

1. 5年以上産業廃棄物処理業を営んでおり、廃棄物処理法に違反して改善命令などの不利益処分を受けたことがなく、遵法性が高い産廃処理業者です。
2. 産業廃棄物の処理に関する情報（会社情報、許可の内容、産業廃棄物の処理状況、施設の維持管理状況など）をインターネットで広く公表しており、事業の透明性が確保されています。
3. ISO14001やエコアクション21等の認証を取得しており、環境に配慮して事業を行っています。
4. 電子manifestoが利用できます。
5. 健全な財務体質を有し、安定的に事業を行っています。

優良認定業者



普通産業廃棄物（事業系・建設系）



多量の廃棄物、重量物をクレーンで掴み取るクラム車両



小口回収を数多くこなすプレス車両



フレコンバックによる分別処理は、混合状態の処理とは異なり、リサイクル率の向上や処理コストの削減に繋がります。



日々まとまった廃棄物量を排出されているお客様へは定期収集をお求め致します。毎日収集、週1回収集、曜日指定収集など品目や物量に応じて定期ルートの設定が可能です。

産業廃棄物収集運搬

北清企業では産業廃棄物収集運搬における様々な車両や技術、長年のノウハウにてお客様のニーズにお応え致します。

オフィスビル内や建物地下階からの廃棄物搬出作業や、間口を通せず搬出が難しい大型廃棄物の分解搬出、建物を傷つけないよう養生を施しての作業も手配可能です。また、特に札幌市内中心部では日中作業が難しく夜間限定の改修工事での産廃処理や、夜間休日でのオフィス・テナントの引越し作業に伴う産廃処理などの時間外作業もご相談下さい。限られた時間内での処理をお手伝い致します。



夜間収集



札幌市内の催事場にてイベント後の大量産廃対応時の作業風景

特別管理産業廃棄物収集運搬

当社では特別管理産業廃棄物の処理にも多種対応致します。廃石棉運搬や有害廃液の処理、シンナー系塗料、強酸性廃棄物、揮発性廃油などの特別管理産業廃棄物の処理にお困りのお客様は是非ご相談下さい。最終処分までお手伝い致します。



医療系廃棄物収集に適したパネル車両



廃石棉（アスベスト）処理



特殊廃油処理

また、有害物として国で指定され厳重な処理を必要とする低濃度PCB含有機器の運搬も専用車両と有資格者により対応可能です。法令により処理期限が定められておりますので、処理をご予定のお客様はお早めにご相談頂くことをお奨め致します。



低濃度PCB保管風景



低濃度PCB作業風景

収集運搬車種一覧

北清企業では産業廃棄物の形状により積載できる多種多様な車両を保有しております。

車種/積載量/特徴	積載量/特徴
2tプレス車 (2,300kg) 低天井作業、地下対策車両	2tトラックロール車 (2,000kg) 低天井作業、地下対策車両
4tプレス車 (3,250kg) 市街地ルート回収、圧縮作業	4tトラックロール車 (3,900kg) 荷台コンテナ交換収集、建設現場対応
6tプレス車 (5,700kg) 多量廃棄物対応、大型廃棄物圧縮作業	10tトラックロール車 (11,300kg) 重量物運搬、がれき類運搬、水密仕様
5tクレーン車 (4,800kg) フレコンバック収集、カゴ交換収集、重量機械収集	11tダンプ車 (9,400kg) 重機積み込み、クラム積み込みにて重量物対応、がれき類運搬
7tクレーン車 (7,500kg) フレコンバック収集、カゴ交換収集、重量機械収集	4t平ボディ車 (3,450kg) 多種多様な廃棄物に対応、手積み及びパワーゲート積み込み対応
5tクラム車 (5,800kg) 重量物掴み取り収集、市街地対応	4tパネル車 (2,800kg) 医療系廃棄物対応、飛散の恐れのある廃棄物に対応、機密廃棄物対応
9tクラム車 (8,700kg) 多量廃棄物対応、大型廃棄物掴み取り収集、重量物掴み取り収集	
10tクラム車 (10,000kg) 多量廃棄物対応、大型廃棄物掴み取り収集、重量物掴み取り収集	

産業廃棄物中間処理施設のご紹介

北清企業には札幌市内2箇所に産業廃棄物の中間処理施設を有しております。
 自社搬入処理のみならず、産業廃棄物処理業者様や自社の産廃を自己搬入にて持ち込まれるお客様にも随時対応しております。
 廃棄物の性状等により処理施設が異なりますので、事前にご相談下さい。平成29年より処理方法が法律により制定された水銀使用
 製品産業廃棄物(蛍光管、水銀灯、乾電池など)も処理が可能です。

北清リサイクルセンター／処理フロー図

札幌市北区篠路町拓北6番地591ほか
 (パープルロード沿い)

建設系産業廃棄物収集運搬



事業所系産業廃棄物収集運搬



〈受入廃棄物の種類〉

- 金属くず、廃プラスチック類、ガラス陶磁器くず、コンクリートくず、がれき類、繊維くず、木くず、ゴムくず、紙くず、アスファルト防水材の選別
- 廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くずのRPF製造など

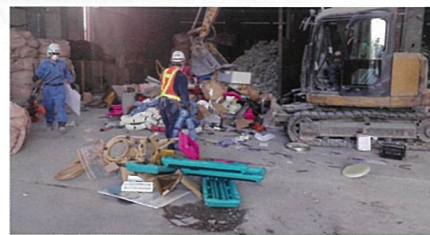
北清企業にて運搬搬入、またはお客様による運搬搬入にて処理受付



▼センター内の作業



トラックスケール計量後に場内荷降ろし、展開選別を行います



クラム車にて荷降ろし

バックホウと作業員にて品目別に選別処理

選別処理能力 51.07t/日

〈廃プラスチック類・木くず・紙くず〉



RPF固形燃料化 処理能力16.6t/日

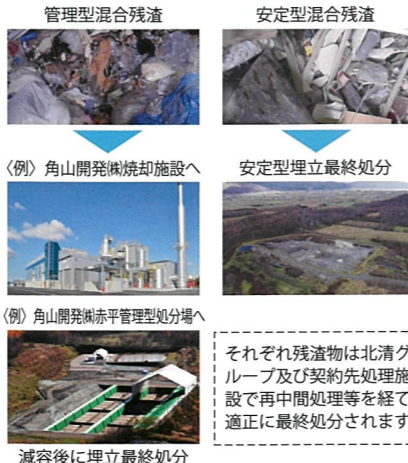
札幌市内及び北海道内の暖房燃料として使用されているリサイクル燃料です。

〈例〉金属くず



選別後の各品目はマテリアルリサイクルで活用されています。

〈選別後のリサイクル不適残渣物〉



それぞれ残渣物は北清グループ及び契約先処理施設で再中間処理等を経て適正に最終処分されます。

北清リサイクルファクトリー／処理フロー図

札幌市東区北丘珠3条4丁目1番5号
 (丘珠鉄工団地内)

廃石膏ボード収集運搬



廃蛍光管・廃乾電池・廃OA機器など収集運搬



〈受入廃棄物の種類〉

- 金属くず、廃プラスチック類、ガラス陶磁器くず、コンクリートくず、ゴムくずの選別
- 水銀使用製品産業廃棄物(蛍光管等、乾電池等)の選別・破碎
- 廃OA機器の選別・ハードディスクの物理破壊
- 廃石膏ボードの選別・破碎
- 第一種特定フロンガスの抜取り回収など

北清企業にて運搬搬入、またはお客様による運搬搬入にて処理受付



▼ファクトリー内観(石膏ボード処理)



天井クレーン計量後に場内荷降ろし、展開選別を行います

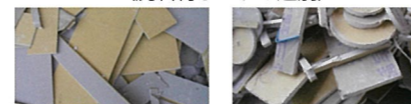


天井クレーンでの吊り下げ計量

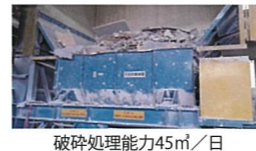


選別・破碎工程へ

〈廃石膏ボードの選別〉



石膏ボード端材を破碎機へ投入



破碎処理能力45m³/日



破碎後の粉体はリサイクル高材として販売、分離された紙はRPF原材料としてリサイクルされています。

〈廃OA類を選別・分解〉



基板・アルミ・ステンレス・プラスチックなどは各提携処理施設にてリサイクルされます。



HDデータ破壊も承ります。

〈水銀使用製品産業廃棄物の処理〉



中間処理後は野村興産(株)にて水銀の適正処理と共によりリサイクルされています。



北清企業のリサイクル事業紹介

北清企業では様々なリサイクルの取り組みを通じて、環境に配慮した廃棄物処理を行っております。排出事業者様にて分別して頂いた廃棄物は、自社内のみならず北清グループ各社や協力業者にて姿や形を変え、様々な用途へリサイクルされております。以下にそのいくつかをご紹介します。

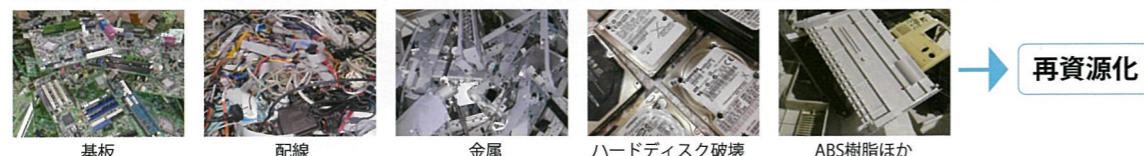
RPF (固形燃料)

廃プラスチック、木くず、紙くず、繊維くずは選別したのち細かく破碎し熱を加えて成形し、固形燃料へと姿を変えます。札幌市内外で発生したこれらの産廃は札幌市内の北清リサイクルセンターで固形燃料へと生まれ変わり、札幌市内の熱源として利用されます。



廃OA機器

事業活動などで活躍し役目を終えたOA機器類は、北清リサイクルファクトリー内で分解されそれぞれの素材やパーツに分けられます。廃OA機器は別名「都市鉱山」とも呼ばれる貴重な資源です。細かく分解し分別することで、これらの資源を有効に利用できると考えます。HDD（ハードディスク）内のデータも物理破壊を行うことで安全安心に処理できます。



廃石膏ボード

建設資材で使用されている石膏ボードは、長年リサイクル処理が困難とされ埋立処理されてきました。北清企業では選別の中間処理で受入れた後、新築工事時に発生した石膏ボードの端材廃棄物を破碎し、石膏粉と紙くずに分離します。石膏粉は石膏ボードの原材料などに利用され、紙くずは自社にてRPFの原料へリサイクル処理しております。



蛍光管類 乾電池等

平成29年10月より廃棄物処理法が改正となり、蛍光管や乾電池等の一部水銀を使用している可能性のある産業廃棄物は「水銀使用製品産業廃棄物」として適正な処理を行うように義務づけられました。当社では蛍光管専用破碎機を備えており、外部への水銀ガス飛散を防ぎながら破碎処理しリサイクルすることが可能です。また、同様に乾電池類（マンガン・アルカリ・リチウムなど）も、水銀使用製品として受入れ、選別後にリサイクルしております。
※LED照明のリサイクルも行っておりますので、併せてお問い合わせ下さい。



フロンガス回収

当社ではフロン排出抑制法に基づき第一種特定フロン類充填回収業者として登録しております。業務用冷蔵・冷凍設備及び冷却空調設備に含まれる冷媒（フロンガス）は「フロン排出抑制法」により機器の廃棄時にフロンガスを大気へ放出しないよう回収・破壊が義務づけられております。
当社にて収集運搬を行った、あるいはお客様にて直接持ち込み頂いたフロンガス入りの機器は北清リサイクルファクトリー内でフロンガスの種類ごとに抜き取り、タンクへ充填を行った後にフロン破壊処理業者へ引き渡します。これまで個々にフロンガス抜き取りと機器の廃棄を手配されていたお客様にとって、機器廃棄時に当社が一括してフロンガス充填回収とリサイクル処理を行うことで、手配の手間とコストを削減することができます。



産廃容器

弊社ではお客様のニーズに適した産廃保管容器をご用意できます。保管場所の整理整頓や分別廃棄にご利用下さい。



**建設現場用鉄カゴ
(鉄板タイプ・メッシュタイプ)**
主に建設工事現場への設置や会社敷地への設置にてトラック車収集対応。

**フレコン台車と
フレコンバック**
キャスター付きなので倉庫内や屋外設置の横移動が可能。フレコンバックごとに回収致します。
(フレコンバックは別途販売致します)

**プラスチック製
ドラム缶**
プラスチック製のドラム缶に取手を付けており、省スペースの分別に適しております。素材も軽いのので取扱いも容易です。

**フックロール
コンテナ**
多量排出現場での定期収集に適しており、トラックの荷台をそのまま設置致します。コンテナ交換での収集対応ですので周辺は広いスペースが必要です。

分別表示板
お客様の分別状況に応じて産廃品目の表示板をご用意致します。表示板掲示により皆様の分別廃棄のリサイクル活動にご協力いたします。

会社概要

名称 北清企業株式会社
所在地 北海道札幌市東丘珠5条4丁目5番7号
TEL.011-791-1101
FAX.011-791-1233
役員 代表取締役会長 川井 雄一
代表取締役社長 高橋 俊一
創業 昭和44年3月
資本金 3000万円
決算期 9月

事業内容
一般廃棄物収集運搬業
・(一財)札幌市環境事業公社の収集運搬代行業務
・札幌市家庭ごみ収集運搬業務委託
・札幌一廃抜根許可 第90号
産業廃棄物収集運搬業
・札幌市許可 第05110004495号
・北海道許可 第00100004495号
特別管理産業廃棄物収集運搬業
・北海道許可 第00150004495号
産業廃棄物処分業
・札幌市許可 第05120004495号

会社沿革

昭和44年3月	現会長、川井雄一が新琴似清掃事業社として札幌一円の塵芥処理業務を始める。
昭和46年3月	業界で初めて機械車、ロードバッカーを導入する。
昭和46年4月	清掃法の改正とともに、札幌市より一般廃棄物処理の認可証(第3号)を交付される。
昭和46年5月	新琴似清掃事業社を北清企業株式会社と改め、資本金120万円で設立する。
昭和46年12月	札幌市と小・中・高校の塵芥収集契約を結び、同時に大口排出事業者の処理業務を委譲される。
昭和47年4月	札幌市より各施設の塵芥処理を依頼される。
昭和48年5月	札幌市北区新川5条6丁目に新社屋及び関連施設が完成する。
昭和50年4月	資本金を400万円に増資する。
昭和52年4月	北都清掃株式会社と合併する。また、資源部を設け古紙の回収業に進出する。
昭和53年4月	北清商事株式会社を資本金500万円で設立、有限会社栄興産を吸収合併し、古紙回収業務を開始する。
昭和53年11月	江別市より一般廃棄物処理業の認可証(第3号)を交付され、江別市工栄町に北清企業株式会社江別支店を開設する。
昭和56年6月	岩見沢市より一般廃棄物処理業の許可証を交付され、同年6月に岩見沢市店を開設する。
昭和57年11月	札幌市東区北丘珠5条4丁目に新社屋を完成する。
昭和59年4月	北清企業株式会社の資本金を3,000万円に増資する。
昭和60年7月	北海道特殊自販株式会社を資本金1,000万円で設立。
平成6年4月	事業系一般廃棄物の窓口が財団法人札幌市環境事業公社となる。
平成6年8月	北清企業株式会社南九州支店を開設する。
平成6年12月	九州北清株式会社を資本金5,000万円で設立。
平成8年1月	宮崎県より産業廃棄物処理施設設置許可証を交付される。
平成10月11日	札幌市北区篠路町拓北に建築廃材の積替え保管施設「北清リサイクルセンター」を建設する。
平成11年1月	「北清リサイクルセンター」が建築系産業廃棄物中間処理(選別)施設となる。
平成15年1月	札幌市東区丘珠に中間処理用施設を取得する。「北清リサイクルファクトリー」を建設する。
平成15年8月	ISO14001認証を取得する。
平成17年12月	「北清リサイクルファクトリー」施設内に産業廃棄物中間処理施設を設置。蛍光管リサイクル及び各種産業廃棄物のリサイクルを始める。
平成20年8月	環境に配慮した取り組みを自主的に行っている事業所として「さっぽろエコメンバー」に認定登録される。
平成21年9月	「北清リサイクルファクトリー」で展開する廃石膏ボードのリサイクル事業が道内初となる廃棄物再生事業者として認定登録される。
平成23年10月	平成23年度 循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰を受賞する。
平成24年1月	札幌市から優良産廃処理業者として認定される。
平成24年2月	北海道から優良産廃処理業者として認定される。
平成24年7月	札幌市から札幌の環境保全に貢献する企業として、さっぽろ環境賞環境保全・創造部門優秀賞を受賞する。
平成24年12月	北清リサイクルセンターにおいて、固形燃料(RPF)製造設備の稼働を開始する。
平成29年5月	エコアクション21 認証登録
平成30年5月	北清リサイクルファクトリーにてフロン回収業務を開始する。
平成31年3月	北海道胆振東部地震にて、震災時の家庭ごみの収集業務について札幌市より表彰される。
平成31年4月	北清企業株式会社創業50周年。
令和元年6月	札幌市と「災害時における家庭系一般廃棄物の収集運搬に関する協定」を締結する。

北清企業株式会社

札幌市東区北丘珠5条4丁目5番7号
TEL.011-791-1101 FAX.011-791-1233
<http://www.hokuseikigyou.jp>

北清企業グループのご紹介

北清グループの管理業務全般及び
環境関連商品の販売

エコアクション21取得

株式会社 北清

札幌市東区北丘珠5条4丁目732番地51
TEL.011-788-1055
<http://www.kk-hokusei.jp>

段ボール収集・機密書類の処理
廃棄物コンサルタント事業

ISO27001取得 ISO14001取得

北清商事株式会社

札幌市東区北丘珠4条4丁目3番12号
TEL.011-791-0131
<http://www.hokuseisyoji.jp>

特殊車両の開発とメンテナンス
車検・整備・各種保険代理店

エコアクション21取得

北海道特殊自販 株式会社

札幌市東区北丘珠4条4丁目3番20号
TEL.011-791-1578
<http://www.tokusyuzihan.jp>

先進の環境エンジニアリング企業
産業廃棄物の選別、焼却、管理型埋立処分

ISO14001取得

角山開発株式会社

江別市角山425番地
TEL.011-385-2669
<http://www.kakuyama-k.com>

産業廃棄物、一般廃棄物の
収集運搬業務

エコアクション21取得

江別清掃株式会社

江別市角山69番地27
TEL.011-383-3261
<http://www.ebetsuseisou.jp>

一般廃棄物、建築・建設廃材まで
幅広く対応

エコアクション21取得

北清いわみざわ 株式会社

岩見沢市栗沢町由良213番7
TEL.0126-35-5228
<http://www.hokusei-i.com>

先進の溶融プラントによる高度な
廃棄物処理

ISO27001取得 ISO14001取得

九州北清株式会社

宮崎県小林市東方4066番地25
TEL.0984-24-1170
<http://www.k-hokusei.co.jp>

環境分析、廃棄物処理及び、
リサイクルに関するコンサルタント業務

エコアクション21取得

西日本環境技研 株式会社

宮崎県小林市東方3771番地3
TEL.0984-23-4562
<http://www.nk-giken.com>

パークゴルフ場「えべつ角山(かくさん)
パークランド」の運営

エコアクション21取得

北清コーポレーション 株式会社

江別市角山199番地1
TEL.011-389-5000
<http://www.kakusan-pl.com>

廃棄物の収集・運搬・処理及び
リサイクル事業のエキスパート

ISO14001取得

北清ふらの株式会社

富良野市字学田三区
TEL.0167-22-5066
<http://www.hokuseifurano.com>

RPFをはじめ各種再生プラントと管理型埋立
処分場を有し、道南地域の廃棄物処理に貢献

エコアクション21取得

北清えさし株式会社

檜山郡江差町愛宕町18番地
TEL.0139-52-6100
<http://www.hokusei-esashi.com>

創業50年以上の実績をもつ
木造家屋、鉄骨、鉄筋建屋の解体
解体発生材のリサイクル

北日本総業株式会社

札幌市北区北35条西8丁目1-11
TEL.011-757-2811
<http://www.kitanihon-group.co.jp/>